

愛児園だより



2019・12・1 第9号

横浜菊名教会
附属 菊名愛児園
園長 伊藤 愛

キリスト教保育連盟 年主題

『ことばに満たされて～ひびきあう～』

2019年度主題聖句

詩編 1編3節

その人は流れのほとりに植えられた木。

<12月聖句>

ヨハネによる福音書 1章5節

光は暗闇の中で輝いている。

今年もクリスマスがやってきます。イエス様のお誕生、それはとても嬉しいことです。しかし、幼少期の私は少し違っていました。牧師の娘だから、この時期は忙しい。プレゼント？勿論ありません。それでもサンタクロースはいると思っていました。昔はキャロリングといって、イヴ礼拝の後、近所の教会員のお家に行き讃美歌を歌う。数軒回って、最後は菊名駅の改札の前で一般の人たちに向けて歌う。これがまた恥ずかしい。しかし、このキャロリングが大好きでした。夜道の寒い中歩いていると、羊飼いや博士たちもこうしてイエス様のいる馬小屋目指して歩いていたのだろうと思うと寒さも吹き飛びました。

きく組の子どもたちのページェント、今年はどんな風に演じてくれるのかな？子どもたちにとっても保護者の方々にとっても、思い出に残るページェントになるよう祈っています。クリスマスを迎えられる幸せを感じつつ、しかしその一方では、自分の家ではないところ、一緒に迎えたかった人がいなくなってしまった悲しみ、様々な苦しみの中にいる人のことも覚えつつ、光り輝いてくださる神さまを仰ぎ見たいと思います。

伊藤 愛